

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【公開番号】特開2019-143893(P2019-143893A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-28776(P2018-28776)

【国際特許分類】

F 25 D 23/02 (2006.01)

F 25 D 23/08 (2006.01)

【F I】

F 25 D 23/02 306D

F 25 D 23/08 K

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月12日(2020.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前側に開口を有する貯蔵庫本体と、

前記開口を開閉する扉であって、回動軸回りに回動可能に前記貯蔵庫本体に取り付けられており、90度より大きく開く扉と、

前記扉が閉じられている状態において前記扉の背面から庫内側に張り出している凸条部であって、前記貯蔵庫本体の開口縁部と前記扉の背面との間に向かって流れる庫内の冷気の流れを阻害する凸条部と、

を備え、前記凸条部は張り出し方向の先端部に平坦面を有しており、前記平坦面は、前記扉が閉じられている状態において、前記回動軸に近づくにつれて前側に傾斜している、冷却貯蔵庫。

【請求項2】

請求項1に記載の冷却貯蔵庫であって、

前記平坦面は前記扉の背面に対して前記扉の全開角度から80度～100度の範囲の角度を減じた角度で傾斜している、冷却貯蔵庫。

【請求項3】

請求項2に記載の冷却貯蔵庫であって、

前記平坦面は前記扉の背面に対して前記扉の全開角度から90度を減じた角度で傾斜している、冷却貯蔵庫。

【請求項4】

請求項2又は請求項3に記載の冷却貯蔵庫であって、

前記平坦面は、前記扉が全開状態のとき、前記貯蔵庫本体の前記開口を形成している端面と概ね同一平面上となる位置に設けられている、冷却貯蔵庫。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本明細書で開示する冷却貯蔵庫は、前側に開口を有する貯蔵庫本体と、前記開口を開閉する扉であって、回動軸回りに回動可能に前記貯蔵庫本体に取り付けられており、90度より大きく開く扉と、前記扉が閉じられている状態において前記扉の背面から庫内側に張り出している凸条部であって、前記貯蔵庫本体の開口縁部と前記扉の背面との間に向かって流れる庫内の冷気の流れを阻害する凸条部と、を備え、前記凸条部は張り出し方向の先端部に平坦面を有しており、前記平坦面は前記回動軸に近づくにつれて前側に傾斜している。